

講義名	研究演習		
講義コード	15216	授業形態	演習
担当教員	孫 美灵		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限		
備考			

ゼミ
孫 美灵ゼミナール 【孫ゼミ HP】 http://www2.umds.ac.jp/sem/SemMSun/

学部
商学部

学科
経営学科

演習名
財務分析論

概要説明

2年生（後期のみ）

3年生からの本格的なゼミ生活を迎えるため、基礎知識を身に付けることを目的とします。

その1：財務諸表の基本構造を学習もしくは復習しながら、会計が世の中で果たす役割等を理解します。
テキスト、新聞、記事等必要資料は適宜配布します。

その2：ゼミ発表や卒業論文の執筆に必要なデータの収集方法を学習します。

その3：ゼミ発表に必要なスキル（論理的思考、プレゼンテーション能力等）についても副次的に学習します。

3年生

簿記・会計基礎知識の習得を前提とした財務分析の手法を学びます。

その1：代表的な企業の有価証券報告書を用いて、財務分析を行います。
その2：近年注目されている会計トピックスを取り上げた学術論文を輪読します。
その3：実務界の人を招いて、マネジメント・コンサルティング環境の話をお聞きします（予定）。

その4：中国や韓国へのゼミ合宿を行います（予定）。

その5：ゼミ生には全員発表の機会が与えられます。

4年生

卒業論文テーマの選定から最終提出まで中間報告を含めた複数回の報告を行いながら、論文を仕上げます。

その他

以上の会計の勉強以外に、学園祭で模擬店を出店したり、他のゼミとディベートを行ったりします。ゼミは知識を蓄えると同時に人間力を磨く場でもあります。小さな組織であるゼミの中で、どのように行動し、何を気づき、どういった貢献ができたのかによって、今後社会に出てからのみなさんの行動パターンがある程度決まるような気もします。

皆さんの行動を見て、強みと弱みを気づかせ、できるだけ今後の方向性を示してあげるのが私の役目だと思います。

以上のようなコンセプトでゼミを運営していきますので、共感する方はぜひ一緒にがんばりましょう。

学位
経済学博士（京都大学）

教員よりの要望

- * 「基礎簿記」や「簿記原理」/「商業簿記」を履修済みもしくは履修中であることが望ましいです。
- * 大学卒業までに達成したい目標を一つでも持ち、努力しようとする人が望ましいです。
- * テニスができる人は大歓迎です。

教員英字氏名

Meiling Sun

研究室

研究棟 棟 2710研究室

最終学歴

京都大学経済学研究科 博士後期課程修了

主な研究活動・社会活動・研究業績

現在の研究テーマ

内部統制、国際会計基準、会計教育

主な研究活動 / 社会活動 / 研究業績

「中国における会計教育の特徴 国家会計学院の事例」, 『日本会計研究学会第77回全国大会スタディ・グループ最終報告書』, 2018年9月

「現代中国会計と比較制度分析」, 『日本会計研究学会第76回全国大会スタディ・グループ中間報告書』, 2017年9月

「アメリカにおける会計のPh.D.教育 Basu教授のPh.D.セミナーを中心に」, 『会計教育研究』第5号, 2017年9月

「比較制度分析理論から見た中国企業会計制度の変遷」, 『流通科学大学論集 流通・経営編』第30巻第1号, 2017年7月

「学園祭模擬店プロジェクトを通じた教育事例 - 簿記会計教育を主な目的として -」, 『会計教育研究』第3号, 2015年7月

「日本企業における内部統制報告制度の導入」, 『経営分析研究』第30号, 2014年3月

主な卒業論文のタイトル

財務諸表分析－ファーストフード業界の裏側に迫る

化粧品業界のこれから

アパレル小売業の巧みな戦略

財務諸表分析：自動車産業の誕生と発展

家電業界の動向と家電量販店の財務分析

財務諸表分析：ヤマトホールディングスとSGホールディングス

趣味・特技

ダンス&テニス&料理等

ダンスは私の研究生活に必要なパワーを与えてくれます。最近は競技ダンスを習い始めました。

所属

商学部 経営学科

所属学会

日本会計研究学会、国際会計研究学会、経営分析学会、日本会計教育学会

専門分野

財務会計、国際会計、内部統制

選考方法

書類と面接で選考します。

担当科目

【2020年度】商業簿記、ビジネス会計、財務会計論、国際会計論、企業会計入門/会計学入門、卒業研究、自己発見とキャリア開発

備考

ゼミの先輩たちからのメッセージをご紹介します。
ゼミ生全員仲良しなのが孫ゼミ！！学園祭の出店を通して、楽しみ、学びながら、皆と絆を強めて行けるよ\(^o^)/先生も親身になって相談ののってくて、

評価方法

出席状況、ゼミでの発言頻度、積極性、発表の質、態度をもって総合的に判断します。

実務経験の有無及び活用

実務経験あります。
実務経験が本講義の内容と直接関連するわけではないが、受講生に刺激になると思われるエピソードがある場合は適宜紹介していきたいです。